

議会報告会報告書

開催日時	平成25年10月25日（金）午後7時30分		終了：午後9時22分
開催場所	白嶺小中学校 集会室		
参加人数	76人		
班構成	B班	安実 隆直、小川 義昭、村本 一則、吉田 郁夫、 清水 芳文、藤田 政樹、西川 寿夫	
報告内容	■議会改革の取り組み ■9月会議等の報告		
<p>(質疑応答)</p> <p>(質問1) 白山ろく地域の各支所が統廃合され、平成28年度から各公民館に（仮称）地域センターが置かれ、市民サービスの業務が行われるとのことだ。災害が発生した際、瞬時に対応するため、地域を熟知している地元の職員がいないと対応できないため、地域在住の職員を配置していただきたい。（仮称）白山ろく産業建設課については、将来縮小されることなく、規模が大きくなるよう、施設を含めて充実したものになるよう配慮いただきたい。</p> <p>(答 弁) 現在、執行部で詳細な部分について検討している段階であり、きょうの意見は執行部に伝えたい。</p> <p>(質問2) 松任文化会館について、JR松任駅前で大きな費用をかけ改修が必要なのか。市のシンボリックな文化会館であれば、車社会であるため、交通アクセスがよい市役所と公立松任石川中央病院の間に建設するなどといった発想ができないのか。</p> <p>(答 弁) 松任文化会館については、議員間でいろいろと議論をした。市役所と病院の間に建設した場合、執行部から提示された額は概算で30億円だった。松任文化会館を耐震構造にするのみであれば、実際に実施設計をしなければわからないが概算で約5億円であり、5億円をかけ耐震補強をすれば、当分の間は大丈夫ではないかという意見もあり、最終的な議論の中で、松任文化会館の耐震設計の発注を了承することを決めた。</p> <p>(質問3) 議会の本来の姿としては、行政のチェック機能と議案の提出などがあるが、今回の議会報告会も議会改革の一環であるとの説明があったが、そのほかには。</p> <p>(答 弁) 議会の機能をさらに充実、強化するため、定例会を年1回とし議長の権限で会議を再開できる通年議会を導入した。</p> <p>(質問4) 新聞報道にあったが、（仮称）白山市立野球場は相木野球場の代替施設ということだが、松任石川環境クリーンセンター周辺に必要なのか。</p> <p>(答 弁) 場所の選定については、用地費が一番安く、事業費を含めて一番安価であることが選定の要因の1つになったかと思う。今後とも我々議員はしっかりチェックしていきたいと思っている。</p>			

(質問5) 金城大学に新しい学部である看護学部創設の補助の報告があったが、定員は何名なのか。また、5年間で総額3億円の補助ということだが、3億円を補助した以降も毎年補助が必要なのか。看護師不足解消のため、市において何か方策は考えているのか。

(答 弁) 定員は1年次80人の予定となっている。看護学部の補助については、5年間で3億円であり、それ以上市において補助の予定はない。将来の医療の不安を解消するために、白山市、公立松任石川中央病院、金城大学の連携の中で、看護師不足にならないように、また看護師を育てていくという思いで、方策を進めなければならないと思っている。

(質問6) NECソフトウェア北陸から白山比咩神社までの国道157号を早く4車線化にならないのか。4車線化にすることにより、白山ろく地域が活性化されるのではないのか。

(答 弁) 以前から国等に対し要望しているが、通行量調査で4車線化にする道路ではないという回答が出ており、4車線化は非常に難しい。現在、白山スーパー林道の通行料金値下げの話も出てきており、料金の値下げにより、白山スーパー林道の通行量がふえれば国道157号の通行量もふえると思う。

(質問7) 7月29日の豪雨により、鳥越地域の三坂町周辺の大日川の一部で水があふれ、田畑が水に浸かった。早急に対策をしてほしいし、一度現場にも来てほしい。

(答 弁) 差し迫った案件であり、支所等に確認したい。所管する委員長にも伝える。

(質問8) 空き家対策において、他の地域から移ってきた方が地域になじめないことが考えられるため、受け入れる地域としては慎重に対応したいと考えている。市では、白山ろく地域を観光の拠点として考えているようだが、限界集落が多くなり、若者が帰ってこなければいろいろな面で問題が出てくると思う。その対策について、地域の現状も踏まえながら取り組んでいただきたい。

(答 弁) 貴重な意見として、我々も検討し、執行部にも伝えたい。